

みんなのひろば

うさぎくんのともだちのこぶたくんは、大好きなキャベツのゆめをよくみるよね。うさぎくんは、それをくだらないゆめといつてたけど、わたしは、そうはおもわないよ。だつてすきなもののゆめをみているときは、たのしいもん。でも、うさぎくんは、のんびりしているこぶたくんをしつかりものにかえたかつたんでしょ。にんげんよりえらくなってほしかったんだよね。だから、タヌエモンさんがしがいぎいんとうせんした



★ 小学校低学年部門

うさぎくんへ

黒崎小一年 金子 美希

を見るようにはなしたんだよね。うさぎくん、うそをついてはいけないよ。いつも、にん

くと、うそがばれないようしたいから、くるくなるよね。たからさがしのゆめをみると、うそをついたもんだか

うさぎくんがにんじんのゆめをみていても、こぶたくんは、なにもいわなかつたよね。こぶたくんは、いまのままの

いまごろ、ふたりなかよく、たびをしているのかな。わたしも、なかよしのともだちといろいろなところをたびしてみたい。

「ただ、ただ稼ぎますたー」



金子藤次郎さん（黒崎・75歳）

かね こう とう じ ろう

出番
あじいちゃん、おばあちゃん

《269》

★：学校終わって、リュックサックをしようって、田舎で稼ぎを行きましたつたー。そのあと、宮古の精錬所で終戦まで稼ぎ、そして、そつこつつで、網人を二、三十年やりましたー。★：三つのどぎ親（父）を亡ぐしてなんすー、おふぐろ一人で、兄弟を育でんよーだつたため、ただ、ただ稼ぎましたー。★：盛んサケが大漁だったとき、息子を呼んで、二人して網人をやりながら養殖のワカメ、コンブをやりましたつたー。★：今は養殖を手伝つて、口あけ（ウニ）アワビ）さも行つて、山の刈り払いして、たぎー切つて、今も昔も同じ、稼いでますん。

文芸の世界

川柳愛好会
一月例会作品

川柳
五七五

一杯のお茶が美味しい初日記
真心を包んでそつと子に渡す
新春にひびく太鼓の音に酔い

お見事な手腕を見せる茶の手前
本心を包み隠さずいえる友
無責任なことが多い悲しい世

嵯峨城 待女
太長根英子
深渡 汀女

踏み出した一步を風が消していく
大物が欲にからんで紐とけず
かたくなに包んだつぼの蓋があく
無責任捨てた子猫が通り道
食欲に負けてなかなかやせられず
災害復興願う歌声ひびく夜

いい目覚め初日拝んで仰ぐ空
ひびき合う言葉に明日の詩がある
政治にも出て来て欲しい手腕志士
三上 翠香